

児童朝会 校長の話 9月25日

今週の土曜日がよいよ運動会本番ですね。各学年で取り組んでいる表現運動はどんどん上手になってきました。今週は更に精度を高めて仕上げていきましょう。応援団やリレーの選手は毎朝早くから練習に励んで頑張っていますね。更により演技、競技ができるように技を磨いていってください。そしてみんなで力を合わせて素晴らしい運動会を創っていきましょう。

さて今日は運動会に向けて皆さんに伝えたいニュースの話をします。8月の終わりに世界陸上大会がハンガリーのブダペストで行われました。世界のトップアスリートが集まる陸上大会です。初日に男女混合4×400mのリレーが行われました。男性2人女性2人で一人400メートルずつ4人でリレーをします。優勝候補はオランダでした。予想通りオランダのアンカー、ボル選手に1位でバトンが渡りました。ゴール直前まで1位で走ってきました。金メダル間違いなしと思ったその時、何とボル選手は転んでしまいました。起き上が

ってゴールしましたが、バトンを落としたままだったので棄権になり順位が付きませんでした。ボル選手は大変落ち込みました。自分だけではなく一緒に走った仲間も金メダルも失ってしまったのです。けれどもそこで、自分は強くならなくてはならないと



思ったそうです。そして、世界陸上大会の最終日、今度は女子4人で走る4×400mリレーがありました。ボル選手はアンカーです。第3走からバトンを3位で受けました。優勝争いはジャマイカとイギリスでそた。2位からは10mくらい遅れていました。オランダのチームメイトは銅メダルが取れるなと思ったそうです。400mのうち半分の200mを過

ぎた頃、ボル選手はスピードを上げました。そして最後の100m、猛ダッシュをかけました。そしてゴールの手前数メートルのところでなんと2位のイギリスの選手を抜きました。更に、ゴールの直前で1位の



ジャマイカの選手も抜いて見事1位でゴールしました。信じられない光景にスタンドにいた数万人の観客は全員立ち上がって拍手を送ったそうです。喜んでいる4人の選手たちの写真です。

初めのリレーでボル選手は転んでしまいました。

た。世界のトップ選手でも失敗することはあるんですね。誰でも失敗することはあります。

それと同時に、人間は信じられないような底力を出すことができます。人間の力は想像を超えます。最後まで諦めないで全力を尽くすことによって、奇跡が起こりことがあります。

皆さんも運動会に向けて最後まで諦めずに全力を尽くしてください。